

小型卓上自公転攪拌機「AWADATURN」ご使用のお客様へ

2021年5月
富士フイルム和光純薬株式会社
機器営業部

腐食性液体によるローター、ベアリングの破損について

AWADA TURN のローター部が腐食性物質に起因するケミカルストレスクラック※¹により、破断する事象が発生しました。

AWADA TURN は攪拌時にマイクロチューブを自転させる構造を採用しており、回転負荷低減の為ベアリングをすべてのマイクロチューブ設置部に組み込んでいます。ローター※² が破損するとベアリングが外れ、本体カバーを破って飛び出す恐れがあり大変危険な状態となります。

また、ベアリングや歯車などに腐食性の物質が付着することにより、個々の部品の損傷から装置が機能できなくなる恐れがあります。

下記の事項に留意いただき安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

記

腐食性のある試料を遠心しない。

●本機に金属および樹脂を腐食する試薬を使用した場合、ローターの破損やベアリングを損傷する恐れがあり、本機の破損により重傷事故の原因となり危険です。

強酸性、強アルカリ性、有機溶媒※、イオン液体など腐食性が高い物質の攪拌・遠心分離を行わないでください。

※ベンゼン・アセトン・酢酸エチルなど

以上

※1:ケミカルストレスクラックとは、樹脂材料に応力がかかった状態のところに薬品が付着し、時間とともに内部に浸透することで応力との相乗作用により、割れ・破壊する現象です。

※2:ローター材料はABS樹脂を使用しています。ベンゼン、アセトン、酢酸エチルのほかにメタノール、シリコーンなどにも影響を受けることがあります。